

愛媛県PTA連合会長賞 壁新聞部門
 「新居浜が生んだ発明家！ 三並 義忠」
 新居浜市立船木中学校 第1学年 三好 あゆり

炊飯器の歴史

発年	内容	
1914年	本初の炊飯電器 かまどの中に電線を通し込んだもの 炊飯を良くするため 周囲を保温してある 電気の発熱 現在使われている形の電気炊飯器	
1915年	国産初自動式電気炊飯器発案 従来のものは手動式で煮飯が冷めると自動でスイッチが切れる これより自動式電気炊飯器は水たけの時に水を入れたものが特長で 自動保温式電気炊飯器発案	
1948年	圧力式電気炊飯調理用電圧調整器 開閉加減式の時短電圧調整機 自動に電圧を調節して 調理が1/4の時間短縮に成功した 1.5倍の炊飯量から 保温器 日本で発売された電気炊飯器	
1947年	内圧にフッ素加工したアルミ製の炊飯器 1948年	小型電気炊飯器 炊飯器の中に炊飯器の小型電気炊飯器が初めて登場した
1949年	長時間保温できる3L炊飯器発案 電気炊飯器の機能を保温機能に特化した炊飯器の開発 炊飯器の炊飯機能と保温機能に特化した炊飯器の開発	
1979年	2L以内の3L炊飯器発案 2L以内の炊飯器に比べて 炊飯器の炊飯機能と保温機能に特化した炊飯器の開発	
1988年	電気炊飯器の炊飯器 発案 炊飯器の炊飯機能と保温機能に特化した炊飯器の開発	
1994年	圧力式炊飯器の炊飯器 発案 炊飯器の炊飯機能と保温機能に特化した炊飯器の開発	
2000年	高温250℃の炊飯器の炊飯器 発案 炊飯器の炊飯機能と保温機能に特化した炊飯器の開発	
2006年	高熱110℃炊飯器の炊飯器 発案 炊飯器の炊飯機能と保温機能に特化した炊飯器の開発	
2008年	炊飯器の炊飯器 発案 炊飯器の炊飯機能と保温機能に特化した炊飯器の開発	
2010年	炊飯器の炊飯器 発案 炊飯器の炊飯機能と保温機能に特化した炊飯器の開発	
2014年	炊飯器の炊飯器 発案 炊飯器の炊飯機能と保温機能に特化した炊飯器の開発	
2016年	炊飯器の炊飯器 発案 炊飯器の炊飯機能と保温機能に特化した炊飯器の開発	

新居浜が生んだ発明家!

三並 義忠
 みなみ よした



自動式電気炊飯器 (1915年)
 世界初自動式電気炊飯器の発案者
 三並義忠 (1915年 - 2016年)
 愛媛県新居浜市船木中学校出身の発明家。1915年に炊飯器の改良として自動式電気炊飯器の発案者として知られる。その後、圧力式炊飯器、保温機能付き炊飯器など、炊飯器の進化に大きく貢献した。2016年に91歳で没した。

年	発明内容
1911年	自動式電気炊飯器
1915年	圧力式電気炊飯器
1922年	保温機能付き炊飯器
1927年	小型電気炊飯器
1947年	長時間保温炊飯器
1949年	2L以内の3L炊飯器
1988年	電気炊飯器の炊飯器
1994年	圧力式炊飯器の炊飯器
2000年	高温250℃炊飯器
2006年	高熱110℃炊飯器
2008年	炊飯器の炊飯器
2010年	炊飯器の炊飯器
2014年	炊飯器の炊飯器
2016年	炊飯器の炊飯器

三並義忠の発明家としての経歴と、新居浜市立船木中学校での活動について詳しく説明しています。また、彼の発明が日本の炊飯器文化に与えた影響についても触れています。

三並義忠は、愛媛県新居浜市船木中学校出身の発明家。1915年に炊飯器の改良として自動式電気炊飯器の発案者として知られる。その後、圧力式炊飯器、保温機能付き炊飯器など、炊飯器の進化に大きく貢献した。2016年に91歳で没した。

彼の発明は、日本の炊飯器文化に大きな影響を与えた。特に、自動式電気炊飯器の発案は、炊飯器の歴史において重要な一歩を踏み出した。また、圧力式炊飯器や保温機能付き炊飯器の開発も、炊飯器の進化に大きく貢献した。

新居浜市立船木中学校では、三並義忠の発明を記念して、毎年「三並義忠記念発明コンクール」を開催している。これは、地域の発明家を支援し、発明の楽しさを伝えるための取り組みである。

電気炊飯器は日本で誕生した！
 白く輝くご飯の向こうに浮かぶ開発者の笑顔

炊きあがったばかりの白いご飯はキラキラと輝いている。一口目は、ご飯の味をそのまま。お米をそんな姿に簡単に炊き上げよう！
日本生まれの電気炊飯器
 江戸時代は……
 米を鍋で炊く炊飯器は、初めは50センチ、中は、は、煮き煮いてもふたを取ると、炊飯器の歴史は、江戸時代から始まる。炊飯器の歴史は、江戸時代から始まる。炊飯器の歴史は、江戸時代から始まる。

炊飯器の歴史は、江戸時代から始まる。炊飯器の歴史は、江戸時代から始まる。炊飯器の歴史は、江戸時代から始まる。

夢の炊飯器
スイッチを入れるだけでご飯が炊ける
 二次世界大戦終了後 日本は高度成長期に入る
三種の神器 電気洗濯機・電気冷蔵庫・白黒テレビの時代に **電気炊飯器** も登場した

日本の初開発
愛媛出身の三並義忠
 1915年に自動式電気炊飯器を開発した

開発秘話
 現在の「東芝」(当時東芝電機)からの開発依頼を受けた。
 1952年(昭和27年) 三並さん44歳

理論的 「炊飯器に炊き上げれば美味いご飯が炊ける」
 「お米の水分が沸騰して20分間加熱して炊き上げよう」

課題 米の炊き上げに時間がかかりすぎる
 炊飯器の炊飯器 発案

失敗原因 炊飯器の炊飯器 発案
 炊飯器の炊飯器 発案

アイデア 炊飯器の炊飯器 発案
 炊飯器の炊飯器 発案

半信半疑 炊飯器の炊飯器 発案
 炊飯器の炊飯器 発案

成功 炊飯器の炊飯器 発案
 炊飯器の炊飯器 発案

評価 炊飯器の炊飯器 発案
 炊飯器の炊飯器 発案

後継 炊飯器の炊飯器 発案
 炊飯器の炊飯器 発案

参考文献
 日本電機工業会(JEITA)
 Wikipedi
 三並義忠の発明家としての経歴と、新居浜市立船木中学校での活動について詳しく説明しています。



炊飯器の歴史は、江戸時代から始まる。炊飯器の歴史は、江戸時代から始まる。炊飯器の歴史は、江戸時代から始まる。